

## 事業所における自己評価表

9/9

公表：

令和6年1月23日

事業所名： 児童発達支援事業所 どーむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			
	2	職員の配置数は適切であるか	9			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9		・ 障害の重いお子さんでも理解しやすいように絵カード等も使った配置と構造にしている。	利用するお子さんの状態はその時により異なるため、お子さんの発達段階を見極めながら進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9		・ 感染症対策を継続しながら、各種消毒等も毎日実施し衛生的な空間を保つようにしている。 ・ 子どもたちが使用した机、イスを含め教室内のアルコール消毒を毎日行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	2		PDCAサイクルの説明不足なこともあると思いますので、今後の会議の機会を話をしていくようにします。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2	・ 返却いただきたい評価票を集計し、職員会議の中で周知、改善に向けて検討している。	お子さん、保護者の声を大事にしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	4	・ 毎年1回よるべ会ホームページ上にアップし公表している。	結果は会議で確認していますが、公表していることを知らない職員もいるようなので、今後周知していくようにします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	5	・ 前年度の実地指導を踏まえ、改善すべき点はすでに改善し運営につなげている。	第三者評価について、あらためて説明をしていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	・ 非常勤含めた全職員対象の研修を年間2回実施。それ以外にも法人研修（権利擁護）にも参加し、意識向上を図っている。 ・ 年2回、職員の全体研修をしています。その他にも研修の機会があります。	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	1	・アセスメント票だけでなく、日常の関わりがアセスメントとして関わるようにし、必要な支援を支援計画に反映できるよう向けている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	3		アセスメントツールは使用していますが、所内での使用方法等の説明をしていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	2	・支援計画の立案は必ず「発達支援」「家族支援」「地域支援」を3本柱としたものとしている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	2		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3	・子どもたちの取り組みの様子を終礼等で確認しながら適切なプログラムになるよう進めている。	会議の中で検討できるよう向けていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	3	・月間予定を組み、プログラムが重ならないよう工夫し、あきがこないよう向けている。	今後も工夫を凝らし、子どもが楽しみと思えるプログラムを考えていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	3		個別活動は小規模事業所のため難しいが、必要に応じて取り組みを行っていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	・朝礼時に必ず確認しています。朝礼に参加していない職員にも伝え漏れがないようにホワイトボードに打合せ事項を書き確認できるようにしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1	・終礼で子どもの様子と支援についての振り返りを行い、情報共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	・記録は日々作成し、その日の状態とアプローチへのリアクションも記録。今後の支援方法について改善等を行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	2		
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5	4	・セルプラン率が高く、相談支援専門員との関係は薄いですが、必要に応じた連携を図っている。		

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	1	・併行通園先、市、町と連携をとり情報共有しながら望ましい支援となるように進めている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	・新規利用されたお子さんの併行通園先には必ず訪問を実施し、顔の見える関係をつくり、その後の情報共有に役立っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	3	・移行支援の対象となるお子さんについては、年度末に市教育委員会と情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	6	・利用児童が併行通園していることもあり、幼保との交流といった機会はとっていない。	何か機会があるか探っていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		9	・参加する機会がなく参加できていない。	法人内の他事業所が参加しているため、協議会への参加が可能か確認していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	5	・ペアトレは市が実施しているものを情報提供し、参加可能な保護者に参加していただいている。	所内で実施していくことに難しさはあるが、大切な取り組みであることも理解しているので、今後も引き続き検討していきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1		

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	1	・同意会にて丁寧な説明を行うことを心掛けている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1	・保護者同士のつながりを持つ場面として茶話会を開催している。年間4回の開催で好評をいただいている。 ・年4回茶話会を開催し、保護者同士のコミュニケーションの場を作っている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	・ご相談があった際には迅速に動くことを基本としている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		・月1回「どーむだより」を発行し活動内容や予定をお知らせしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9		・個人情報を持ち出し禁止としており、施錠可能な書庫で管理している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	6	・毎年夏祭りを開催していたが、コロナ禍で今年度まで開催できていない。	今後開催できるか法人内での検討をしていきます。
非常時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		・月1回の避難訓練を実施。曜日により利用するお子さんが異なるため、毎月曜日を変えて全児童が経験を積めるように向けている。 ・月1回避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	2		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	3	・主治医からの指示書はなく、ご家族からの話による。	必要に応じて主治医ともコミュニケーションとるようにしていきます。

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3		ヒヤリハットはあるが、あまりあがっていないこともあり、細かいことでも挙げるができるよう向けていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		・今年度は法人職員研修として権利擁護研修が実施され参加している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	2	・身体的拘束は行わないことを指針として明確にし、3要件を満たす身体的拘束が発生した場合には保護者へ説明をした上で実施するようにしている。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。